

「江戸図屏風」より 館蔵

『周縁的身分の人々』から
江戸時代を考える

2018年2月3日(土)
13:30-15:30

会場 国立歴史民俗博物館 講堂

聴講無料・申込不要

当日先着順入場 [定員260名]



【講演】

国立歴史民俗博物館
久留島 浩 館長



国立歴史民俗博物館友の会主催 館長特別講演会

みなさんは、江戸時代の人びとは厳しい身分制度にしばられていたと考えていませんか？わたしも含めて、少なくとも30年くらい前までの日本史の教科書では「士農工商えた・ひにん」として江戸時代の身分制度が説明されており、それとの対比で、近代になって出された四民平等という政策やえた解放令が開明的だと教えられてきたようです。

しかし、実態はどうだったのでしょうか？これまでの3年間にわたる講演では、武士、農民（村と農民）・祭りを担う町人について話してきましたが、実は近年（この30年間）は、「やわらかい身分制」についての研究が進みました。とくに「身分的周縁」という考え方のもとで、多様な身分集団として江戸時代の人びとのありかたを考えるようになってきています。

今回は、この「身分的周縁」についての研究に学びながら、多様な身分集団のなかからいくつかを選んで、その実態について考えてみましょう。どのような人びとが出てくるのか、お楽しみに！



「絵本御伽品鏡」より

懇親会のお知らせ

講演会終了後、久留島館長を囲んで懇親会を行います。こちらも奮ってご参加ください。

時間：16：00～17：30

会場：レストランさくら（館内）

会費：¥2,000（当日受付）



国立歴史民俗博物館講堂

（千葉県佐倉市・京成佐倉駅から徒歩15分）

申込不要・入場無料

（当日先着順260名）

【京成電鉄利用の場合】京成上野駅から京成佐倉駅(特急利用の場合55分)

下車、バス約5分(一部直通バスあり)または徒歩15分

【JR線利用の場合】東京駅から総武本線佐倉駅(快速利用の場合約60分)

下車、バス約15分(一部直通バスあり)

【自動車利用の場合】東関東自動車道、四街道I.C.、または佐倉I.C.から

約15分(無料大駐車場完備)

